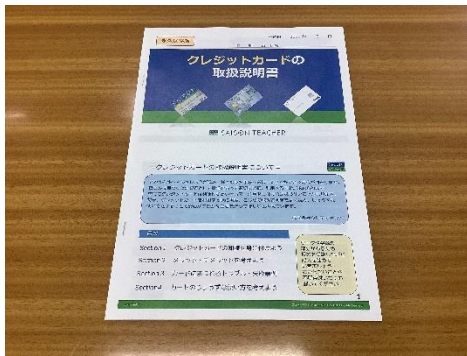


○特別講座② 出張授業～SAISON TEACHER～ の様子と生徒の感想



←配付資料

オンラインにて、「クレジットカードのじょうずな使い方講座」を受講しました。

☆受講した生徒から講師の方へのお礼と感想

3年 S.Eさん

株式会社クレディセゾン 工藤様 佐藤様

本日は「クレジットカードのじょうずな使い方」講座を開いていただきありがとうございました。本日の講座で印象に残ったことは、クレジットカードの利用率や利用方法についてです。以前、韓国のキャッシュレス決済に関するニュースを目にする機会がありました。内容としては、コンビニエンスストアで商品を買ってレジでの決済なしで引き落としされるというものでした。キャッシュレスの利用率が高い韓国ではここまで進化しているのかと思い、とても印象に残っていました。今回の講座では、クレジットカードの使い方について丁寧に教えていただきました。キャッシュレス決済は韓国のように、段々と普及していくと思います。本日学んだことを活かし、キャッシュレス社会に対応できるようにしたいと思いました。そしてクレジットカードを持つ際には家族に相談し、私の母も使用している SAISON カードを利用したいと思います。成年年齢の引き下げに伴いクレジットカードが保護者の許可なしで契約できるようになるため、自己の責任が出てきます。しっかりと自分の金銭面考えた上での行動を取りたいと思います。また、自制の心を持つことが大切になると感じました。

本日は2時間という短い時間でしたが、クレジットカードの使い方について説明していただきありがとうございました。

3年 S.Rさん

今回の講座を受講し、クレジットカードの仕様について知ることができました。将来的にクレジットカードを持ちたいという思いはあったのですが、お金が目に見えないことから使いすぎてしまう心配や、万が一紛失や不正利用されてしまった場合の不安がありました。また、以前にクレジットカードを利用するたびにポイントが貯まり、またそれで買い物が出来ると知った人がクレジットカードを頻繁に使うようになり請求額が高くなってしまったと言う話を聞き、自分もそうなるのではないかと心配が募りました。しかし、講座を受け、自分がしっかりと意識して正しい情報で正しい判断をすればトラブルに巻き込まれずに安心してクレジットカードを使えることが分かったので、無闇にリボ払いや分割払いにしたりせずに臨機応変に判断して、正しく安全な使い方ができるように今後カードを持つ際には気を付けたいです。

3年 T.Iさん

クレディセゾン「クレジットカードのじょうずな使い方」

クレディセゾン 工藤様 佐藤様



本日はありがとうございました。

海外に比べ日本はキャッシュレス決済が普及していないことを学びました。日本のキャッシュレス決済の普及が進まない理由の一つには、日本の紙幣がコピーされにくく、海外と違って偽札が作りづらいことも挙げられると思います。しかし、メリットが多く世界と歩幅を合わせることも重要だと思うので、変えていく工夫が必要だと思いました。

キャッシュレス決済と言っても、支払いタイミングが前、即時、後払いと分かれています。私はよく前払い（プリペイド型電子マネー）を利用しています。キャッシュレス決済だと現金と違って財布が軽くなり現金が目に見えないため、どれくらい利用しているかが実感しにくいです。クレジットカードはキャッシュレス決済に加え、後払いということでの管理が必須です。これから生活費の支払いや大きな買い物でローンを組むであろう私にとって、利用する際は収入と支出を管理し、支払い方法も考えなければならないと思います。クレジットカードにまつわるトラブルや偽サイトに関する情報、紛失時の対応も含め、しっかりと正しい情報を見極めていきたいです。また、複数の支払い方法から失敗の無いように選択し、じょうずに使いこなしたいと思いました。

成年年齢が18歳に引き下げられることで、18歳の時点で親権者の同意が必要なくなります。その代わりに、契約に自分で責任を負うことになることを忘れないようにしたいです。今年の春から成年となる私たちにとって、非常にありがたいお話でした。クレジットカードはいずれ必要になり、申し込むことがあると思います。その時はお世話になったSAISONさんを利用したいと思いました。

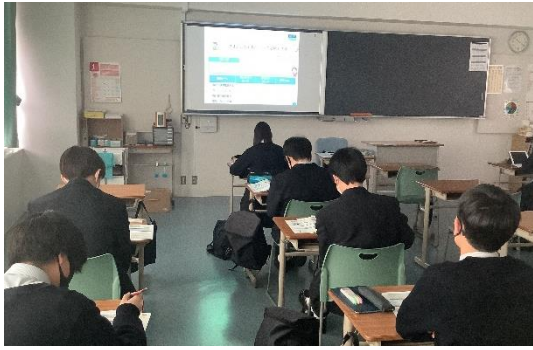
3年 W.Rさん

本日はお忙しい中講義をしてくださってありがとうございます。

私は講義を受ける前はクレジットカードやデビットカードなどの違いやクレジットカードの安全性を知っているだけで、クレジットカードのことを全て理解していると思っていました。しかし実際には、クレジットカードには世界共通のルールがあることや、お金をしっかり払えるかの信用をこれまでの分割払いが払えているか審査をして、ようやくクレジットカードを手に入れることが出来ることなどを初めて知りました。消費者、お店、カード会社におけるそれぞれのクレジットカードのメリットについて、お店やカード会社にどんなメリットがあるか考えもしませんでした。

交通系ICカードは普段利用していますが、手持ちのお金全て電子マネーになることには不安に感じます。実物があることで安心できる気持ちがあると思います。

一人が複数枚のクレジットカードを所持していることやキャッシュレスが進む中、新五百円硬貨、新一万円札などが導入されるという点に矛盾があることに疑問を持ちました。



3年 N.Kさん

今回の講座では、クレジットカードの基礎知識や仕組み、トラブルについて学びました。その中でも特に興味深かったものが二つあります。

一つ目は「加盟店手数料」です。クレジットカードの仕組みは消費者・加盟店・クレジットカード会社それぞれにメリットがあるため成り立っています。この関係を「三者間契約」と言います。今回はクレジットカード会社のメリットである加盟店手数料の仕組みについて気になったため調べました。加盟店手数料とは、店にクレジットカード決済を導入する代わりにクレジットカード会社に払うお金のことです。店舗数の多いコンビニエンスストアなどでは消費者の決済額の2%程度、個人的な店では4~7%といわれています。（参考:「キャッシュレス決済 実態調査アンケート 集計結果」経済産業省）では、なぜ加盟店手数料を払ってまでキャッシュレス決済を導入するのか。それは「客単価が上がる」「現金管理の手間が減る」「利用客が増える」ことが挙げられます。つまり、消費者側のデメリットである「お金を浪費する」ことが店のメリットに繋がるのです。このように、店がクレジットカード会社に加盟店手数料を払い、クレジットカード会社が消費者にお金を貸し、消費者がお金を使うという関係によって三者間契約が成り立つ事が分かります。

二つ目は国内初である「完全ナンバーレスのクレジットカード」です。様々なキャッシュレス決済の方法があるにも関わらず、キャッシュレス決済をする人は未だに3割程度です。その理由の一つに「クレジットカード番号」が考えられます。クレジットカード番号が流出するとクレジットカードが悪用される可能性があります。そのため、店員にクレジットカードを渡すのに抵抗がある人も少なくないと思います。一方で、今回の講座に出てきた完全ナンバーレスのクレジットカードではそうした不安がなくなるため、よりキャッシュレス化が進むのではないかと感じました。

4月からは民法改正により成年年齢が20歳から18歳へと引き下げられます。また、それにより様々な契約ができるようになります。しかし、社会経験の無い私たちが契約をすることは相応の危険が伴います。今回の講座で佐藤さんが「どの契約をするかは自分自身、責任を負うのも自分自身」と仰っていました。この言葉からもわかるように、私たちは自己責任で契約をすることを自覚することが大切だと考えます。